

第 4 章

地域公共交通に関する実態・ニーズ等

4.1. 地域公共交通利用者の移動実態・ニーズ

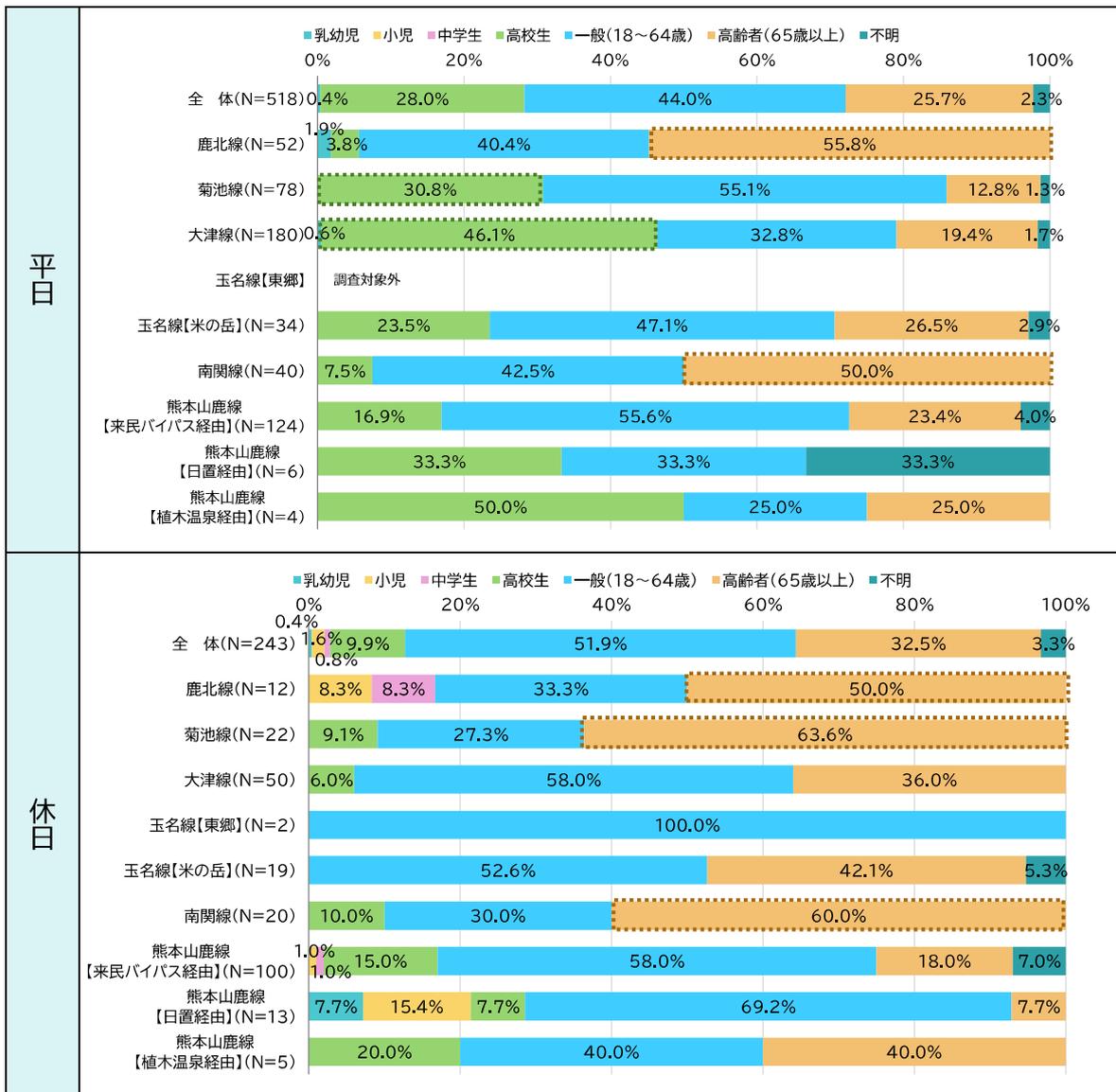
(1) 路線バスの利用状況

項目	実施方法・内容等
調査対象	<ul style="list-style-type: none"> ■ 路線バスの利用者 ■ 平日及び休日 1 日：全路線（市内で乗降する人のみ） <p>※減便や路線の廃止が懸念される区間の利用者の意向を把握し、今後の公共交通のあり方検討につなげることを目的に、以下の考え方のもと調査対象を設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・玉名線【東郷】は、平日は朝夕のみのダイヤとなっており、学生利用が見込まれるため、平日は対象外とし、休日は全便を対象に調査を実施 ・熊本山鹿線は、朝夕は学生利用が多く見込まれるが、昼間の時間帯は利用が少ないことから、平日・休日ともに 11～15 時の便を対象に調査を実施 ・その他の路線は、全便を対象に調査を実施
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 調査員が車内に乗り込み、可能な範囲で聞き取り調査 <p>※乗車時間内に聞き取り困難な場合は、返信用封筒を準備しておき、郵送回収</p>
調査日	<p>平日：令和 5 年 7 月 11 日（火） 休日：令和 5 年 7 月 16 日（日）</p>
調査内容 (項目)	【路線バス OD 調査】
	・属性（性別、年代、職業（学生、高齢者、一般など））
	・運賃支払い方法（現金、IC、定期、その他）
	・乗降バス停
	【ヒアリング調査】
	・属性（居住地、性別、年齢、職業、自由に使える自動車等の保有状況、免許保有状況：免許返納状況）
	・路線バスの利用状況（利用頻度、利用目的・目的地、時間帯）
	・路線バスを利用する理由
	・自宅から乗車バス停までの交通手段・距離 ※乗り継ぎの有無
	・降車バス停から目的地までの交通手段・距離 ※乗り継ぎの有無
・路線バス見直しに伴う地域公共交通の利用状況の変化	
・地域公共交通の満足度（運賃、運行時間帯、運行間隔・運行本数、自宅から停留所（停留所から目的地）までの距離、行先・運行ルート、バス待ち・乗り継ぎ環境、運行形態、情報提供）	
・地域公共交通へのニーズ（最低限必要なサービス）、今後の利用意向	
・地域公共交通に対する要望、意見	
回収票数	<ul style="list-style-type: none"> ■ 計 平日：518 票 休日：243 票 ※系統別の回収票数は次頁参照

第4章 地域公共交通に関する実態・ニーズ等

① 利用者特性

- 平日の菊池線、大津線は高校生の利用が多く、鹿本高校、鹿本商工高校、鹿本農業高校や市外の高校等の通学利用が多くなっています。
- 一方で、菊池線などにおいては、休日は6割以上が高齢者（65歳以上）の利用となっています。
- 平日に小児、中学生の利用はみられませんでした。
- 鹿北線、南関線では、平日・休日ともに、半数以上が高齢者（65歳以上）の利用となっています。



※属性は目視による判断
熊本山鹿線は11~15時の便のみ対象

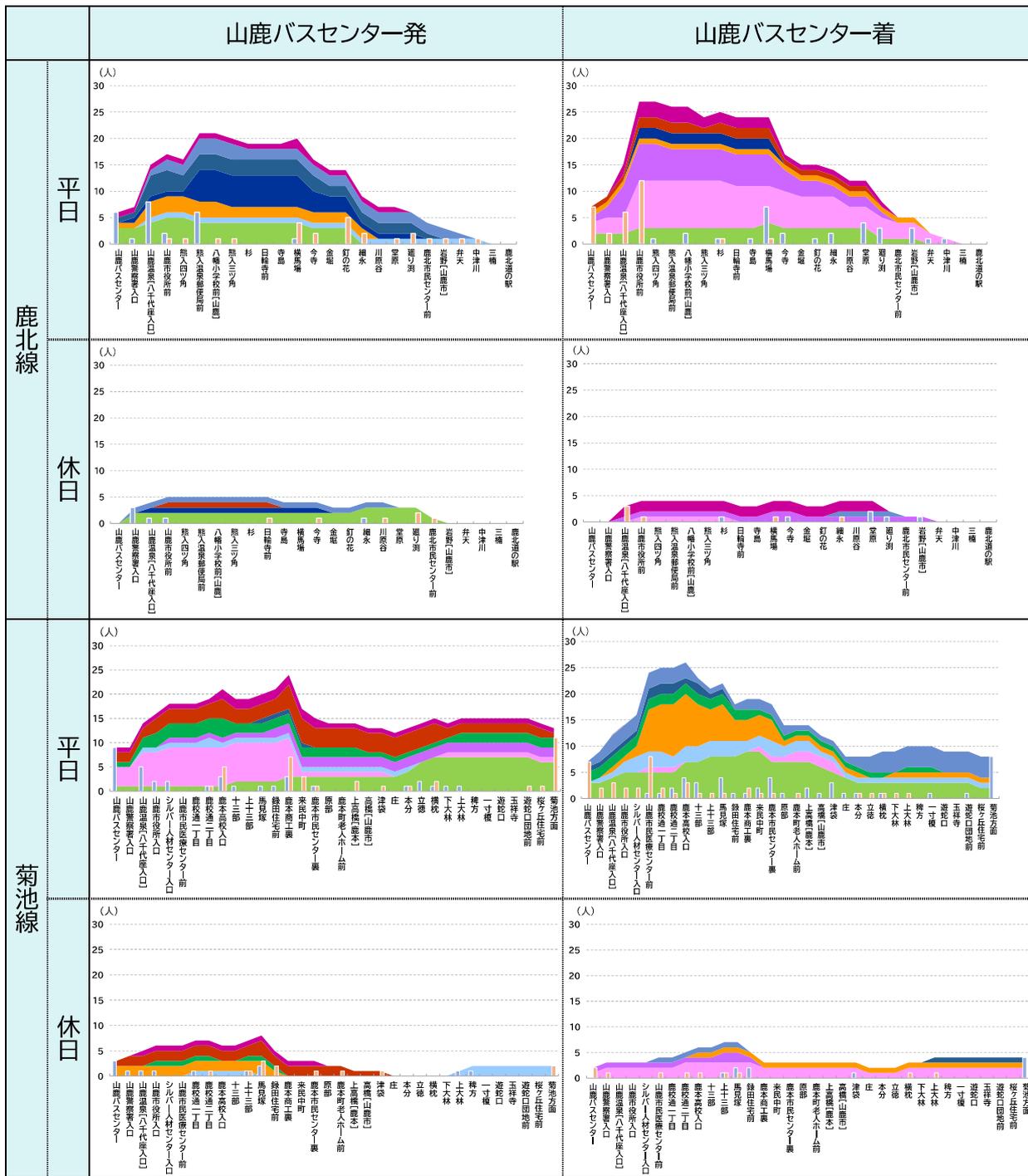
② 系統別の利用者数

- 平日の1便当たり利用者数は、全体で5.5人/便となっており、菊池線や大津線、熊本山鹿線の来民バイパス経由を除いて5.0人/便未満と少なくなっています。
- 休日の1便当たり利用者数は、全体で2.9人/便となっており、特に鹿北線、玉名線【東郷】においては1.0人/便を下回っています。
- 熊本山鹿線においても、昼間の便は利用が少なく、特に植木温泉経由では、平日の1便当たり利用者数は1.3人/便となっています。



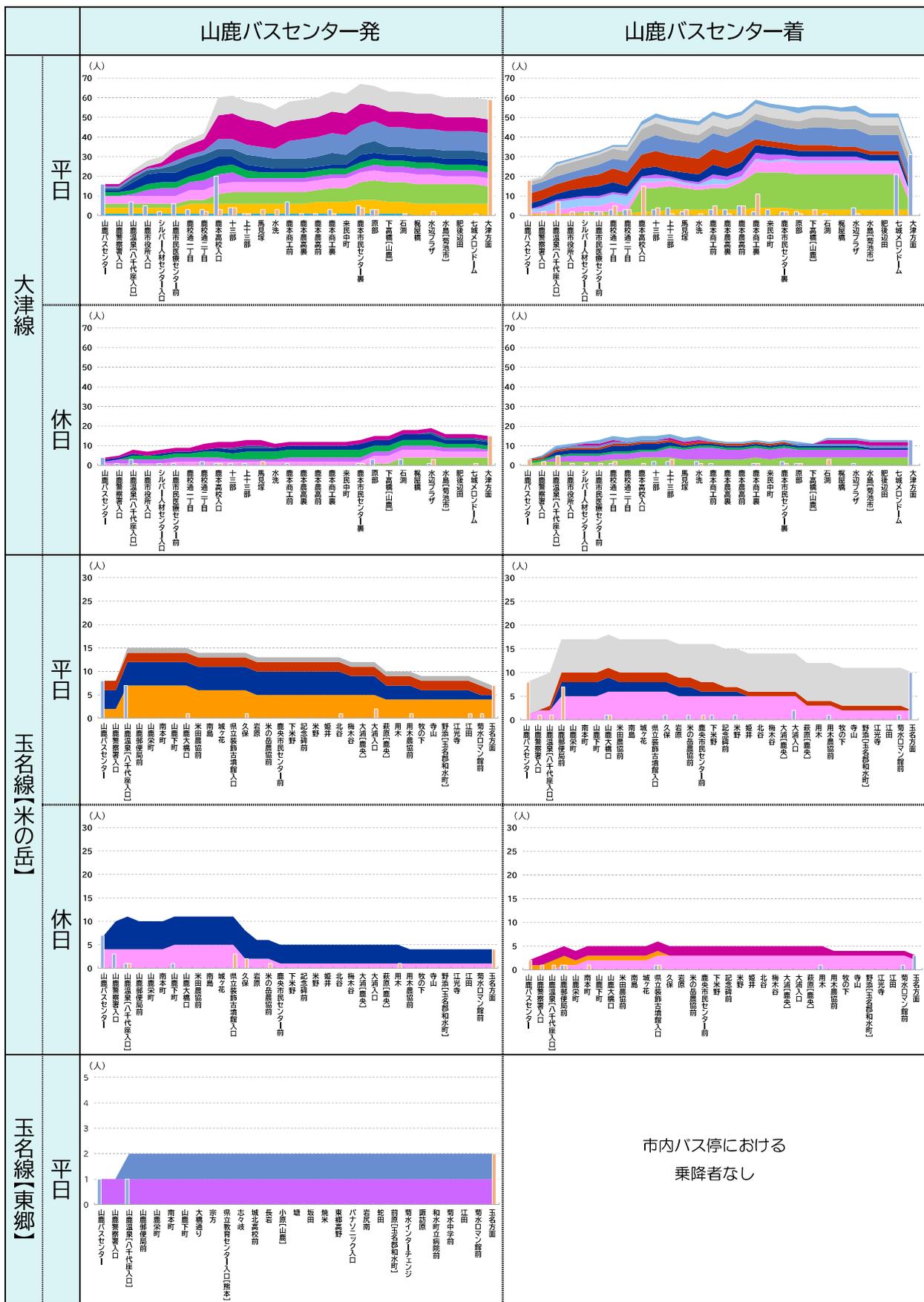
第4章 地域公共交通に関する実態・ニーズ等

時間帯別・利用区間別乗降人員(車内人員)



出発地 → ← 出発地

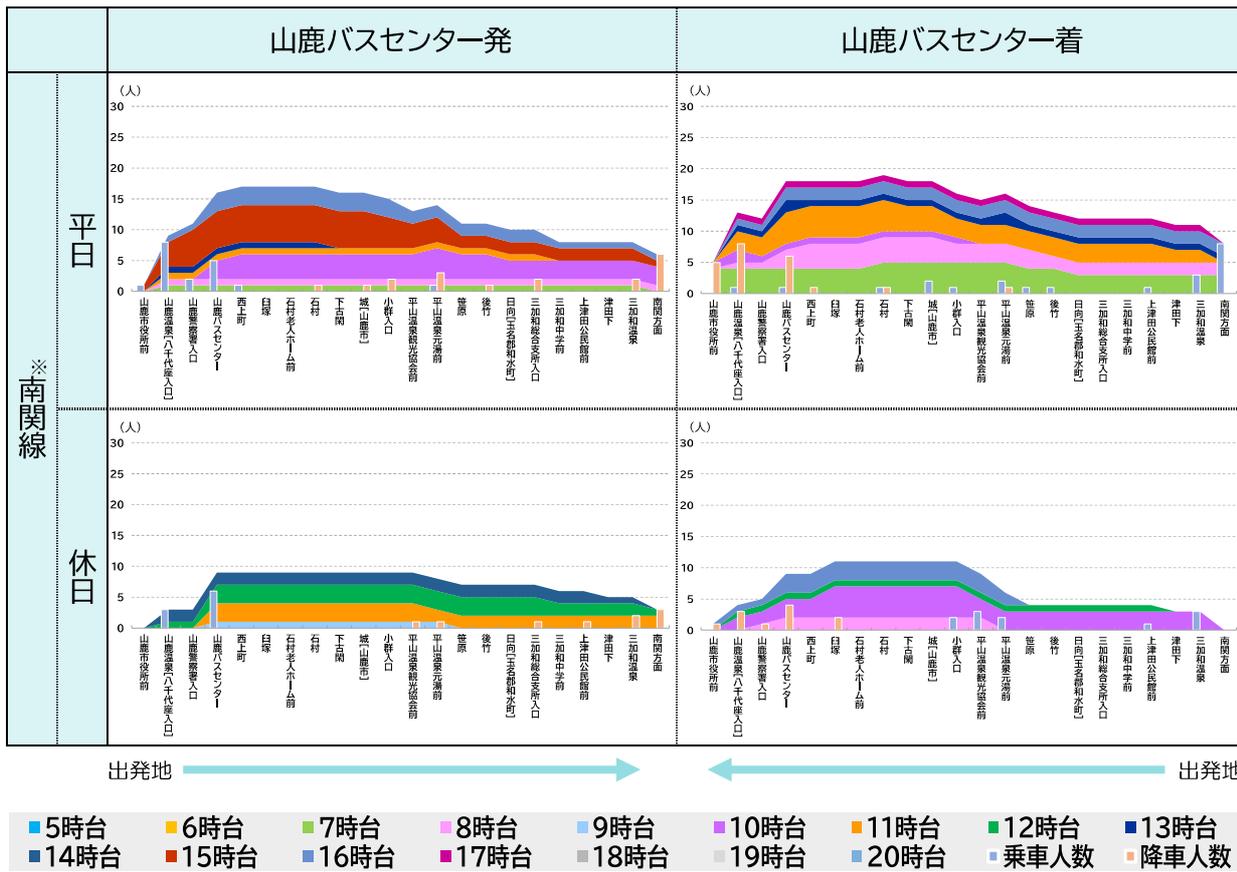
- 5時台
- 6時台
- 7時台
- 8時台
- 9時台
- 10時台
- 11時台
- 12時台
- 13時台
- 14時台
- 15時台
- 16時台
- 17時台
- 18時台
- 19時台
- 20時台
- 乗車人数
- 降車人数



出発地 ← → 出発地

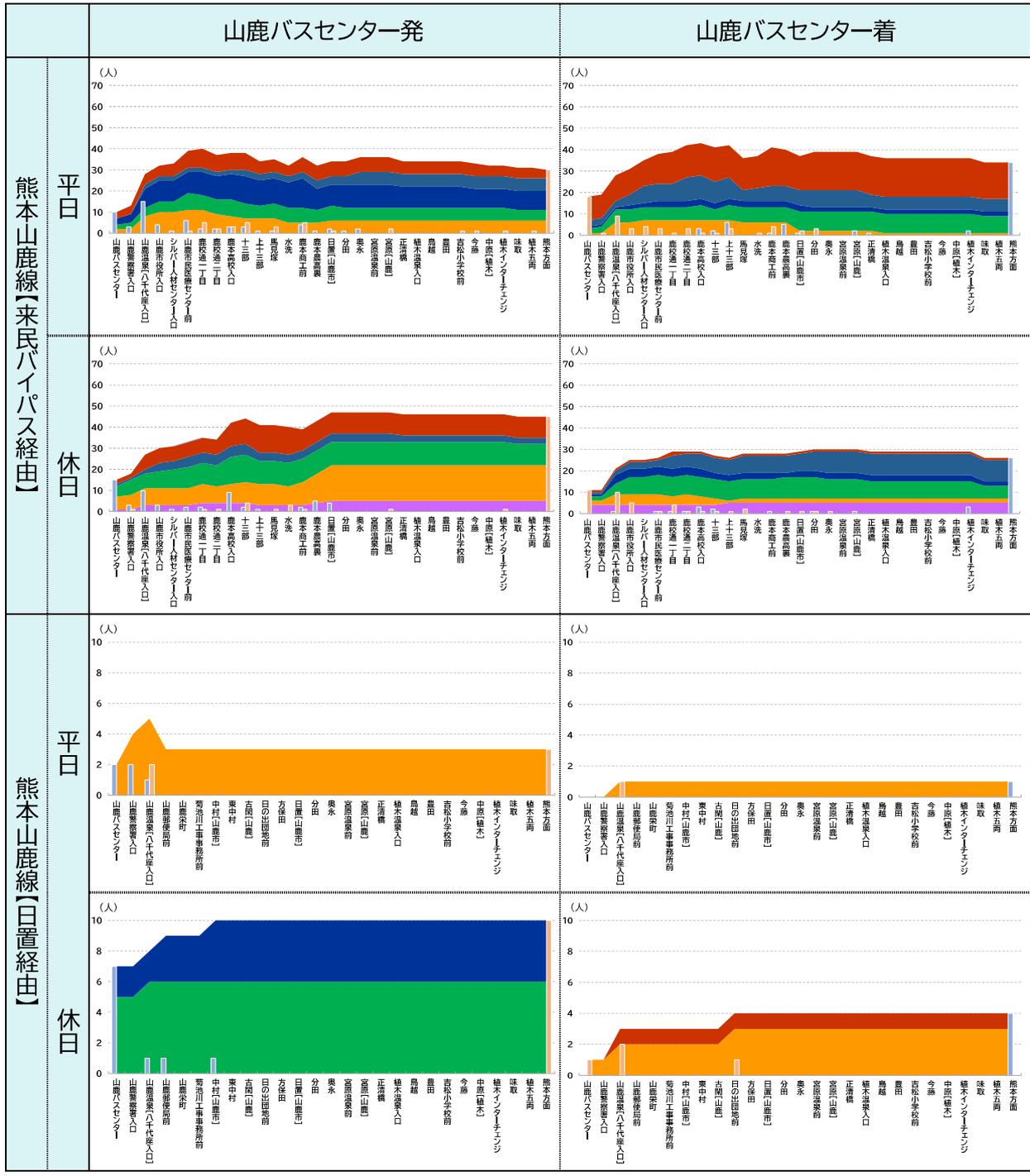
- 5時台
- 6時台
- 7時台
- 8時台
- 9時台
- 10時台
- 11時台
- 12時台
- 13時台
- 14時台
- 15時台
- 16時台
- 17時台
- 18時台
- 19時台
- 20時台
- 乗車人数
- 降車人数

第4章 地域公共交通に関する実態・ニーズ等



※南関線は山鹿市役所発着

第4章 地域公共交通に関する実態・ニーズ等

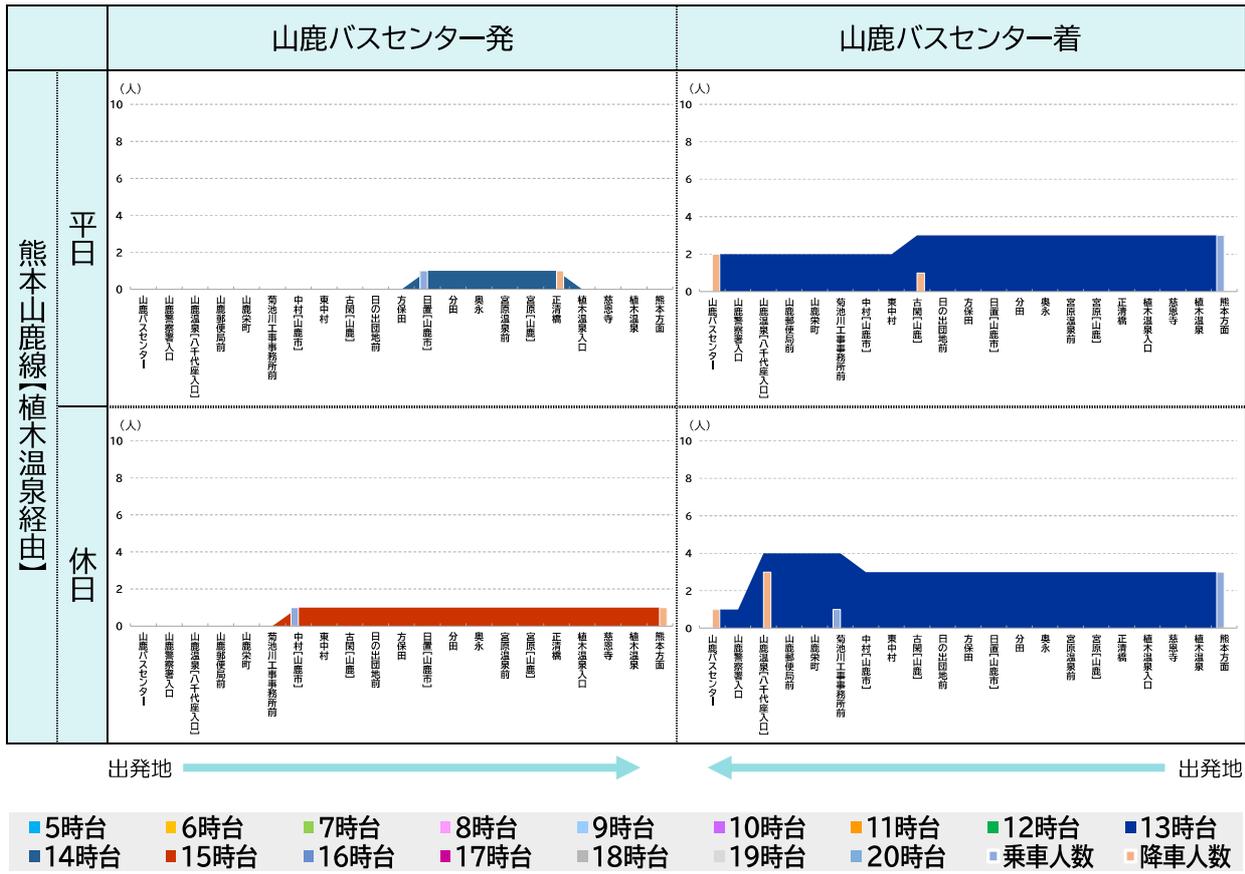


出発地 ← → 出発地



※熊本山鹿線は 11～15 時の便のみ調査

第4章 地域公共交通に関する実態・ニーズ等

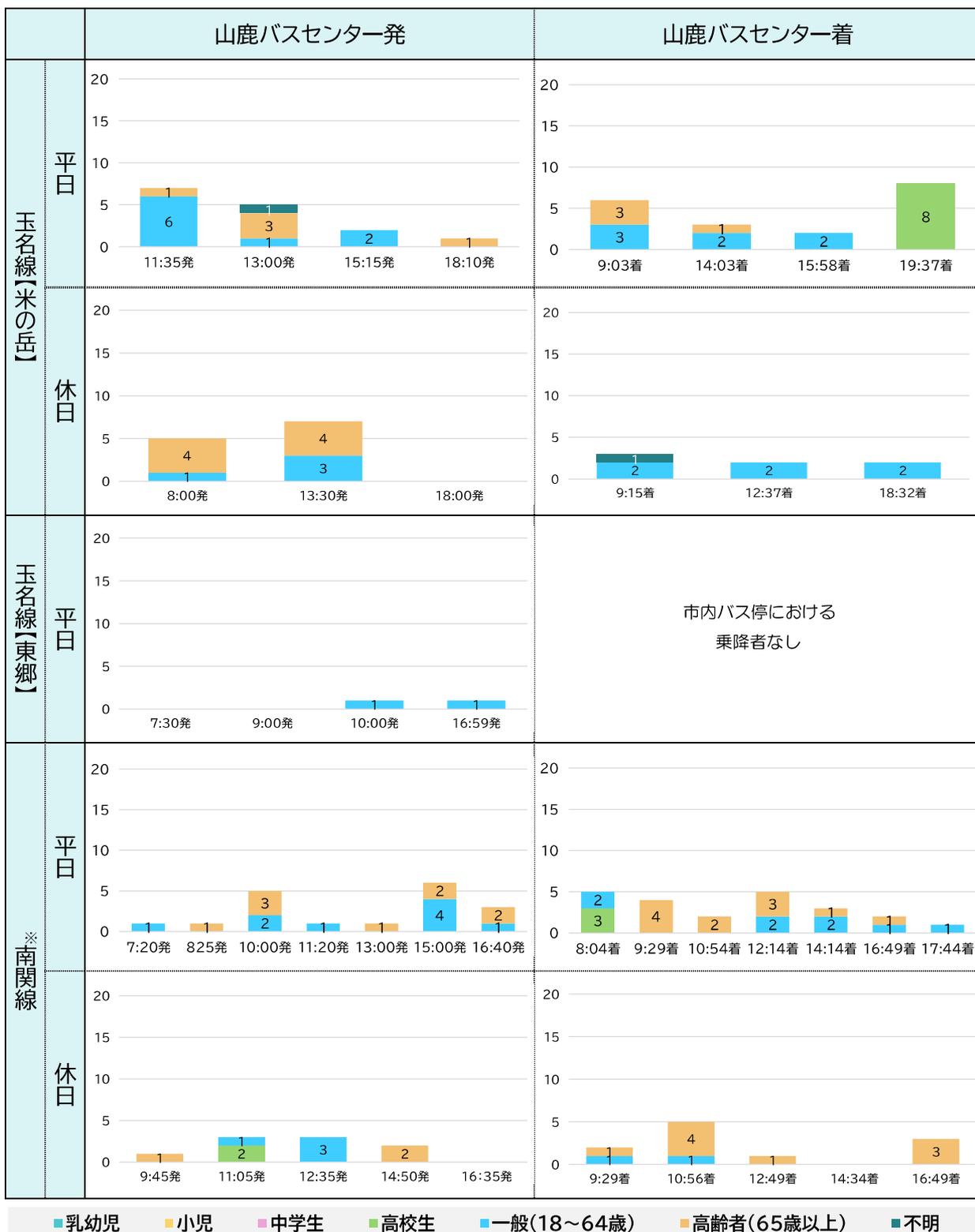


※熊本山鹿線は 11～15 時の便のみ調査

便別・属性別乗車人員

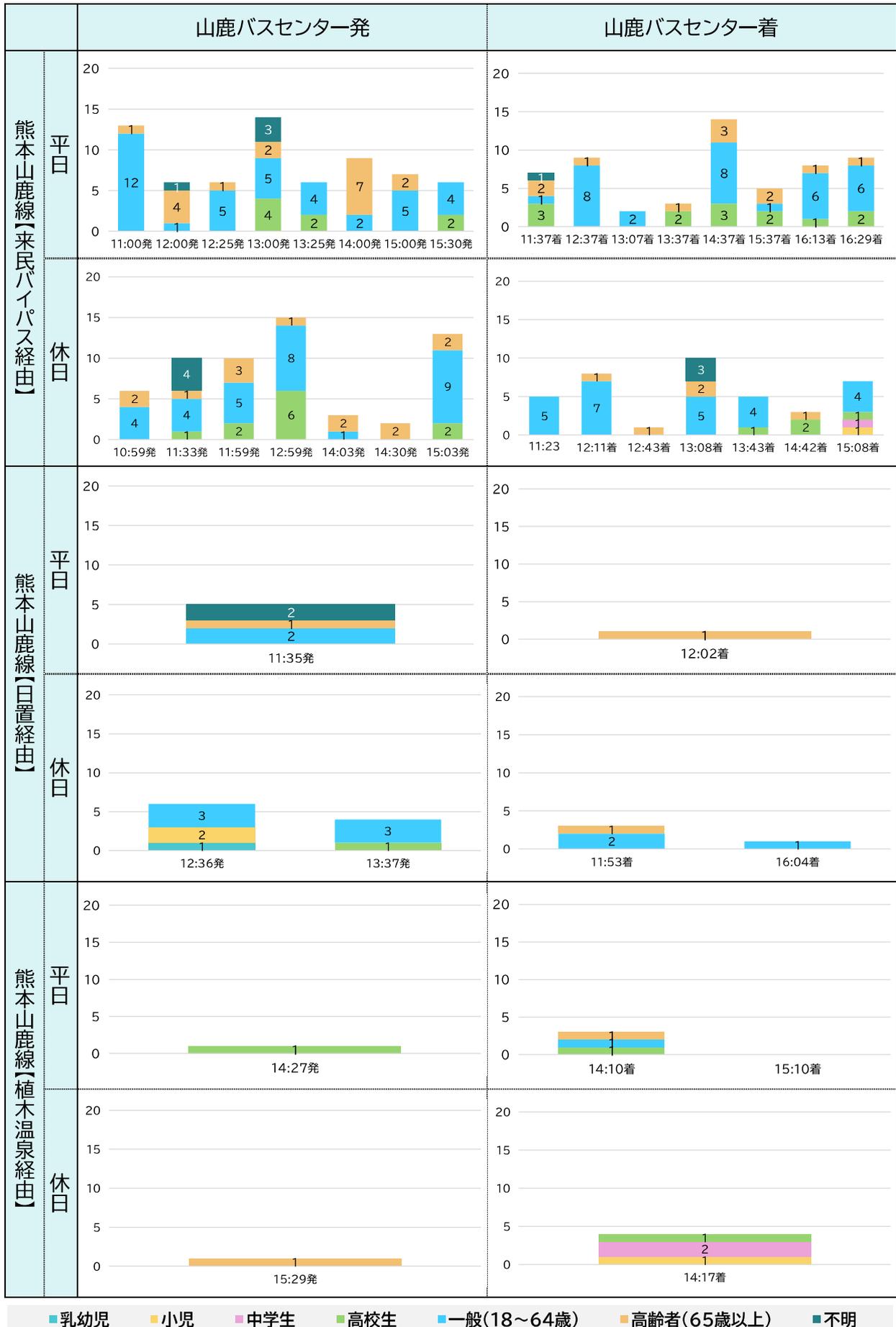


第4章 地域公共交通に関する実態・ニーズ等



■乳幼児 ■小児 ■中学生 ■高校生 ■一般(18~64歳) ■高齢者(65歳以上) ■不明

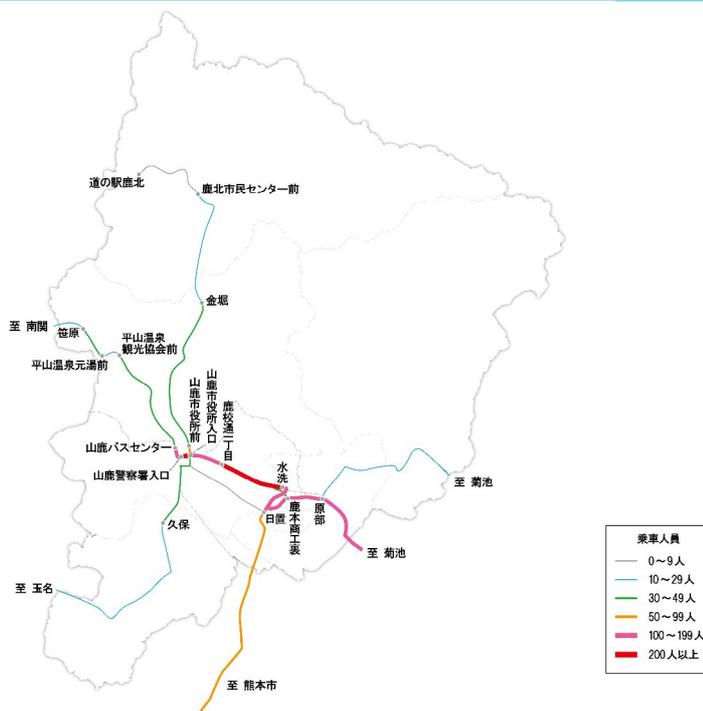
※南関線は山鹿市役所発着



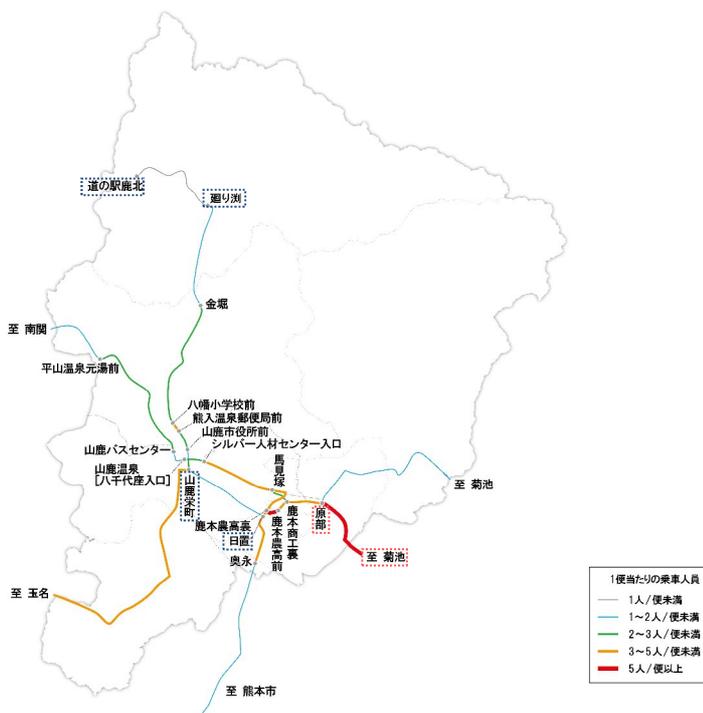
※熊本山鹿線は 11~15 時の便のみ

③ 区間ごとの乗車人員

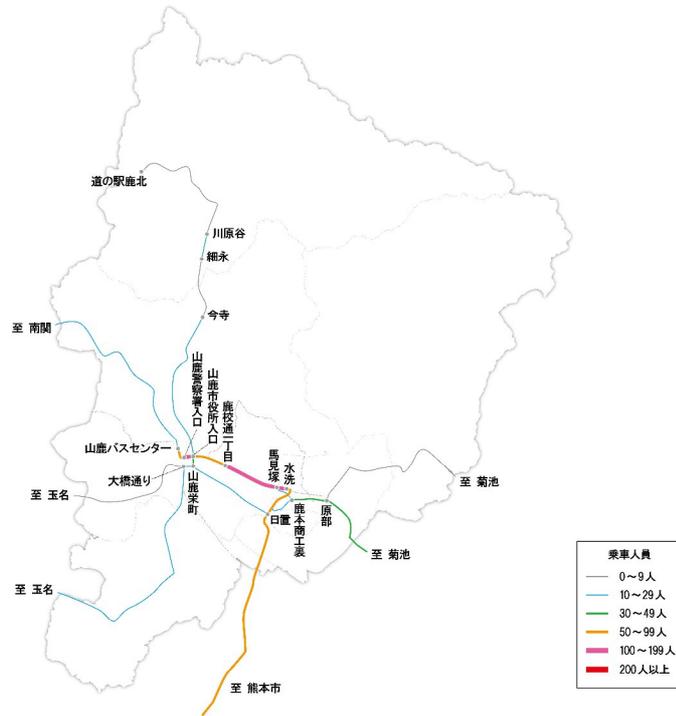
- 山鹿～鹿本の市街地間は、各系統が通過していることにより乗車人員は多いですが、1便あたり利用者数は3.0～5.0人/便程度となっています。
- 平日は大津線の「原部～菊池方面」間では、1便あたり利用者数が5.0人/便以上となっており、鹿北線の「廻り淵～道の駅鹿北」間などで、1便あたり利用者数が1.0人/便未満となっています。
- 休日は全体的に1便あたり利用数が少なく、概ね1.0～3.0人/便程度となっています。



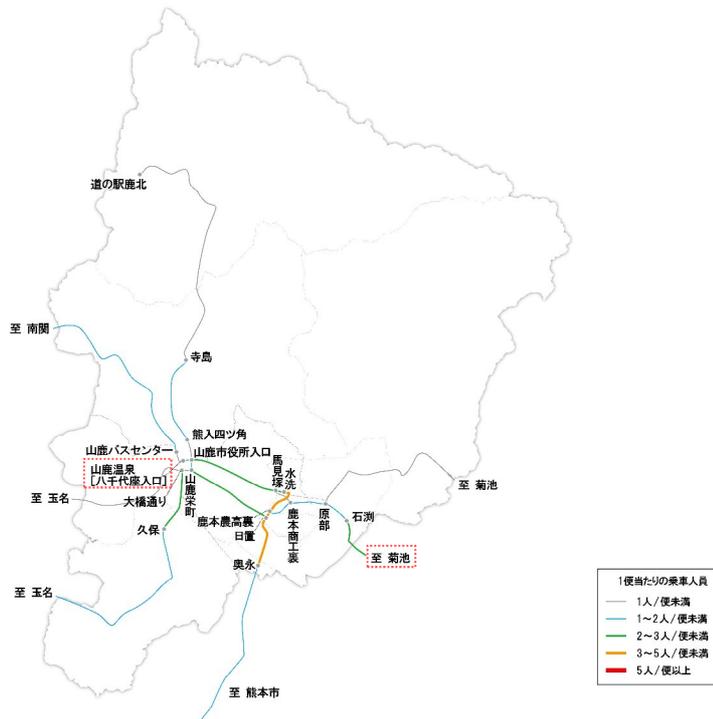
▲平日の乗車人員(人/日)



▲平日の1便当たりの乗車人員(人/便)



▲休日乗車人員(人/日)



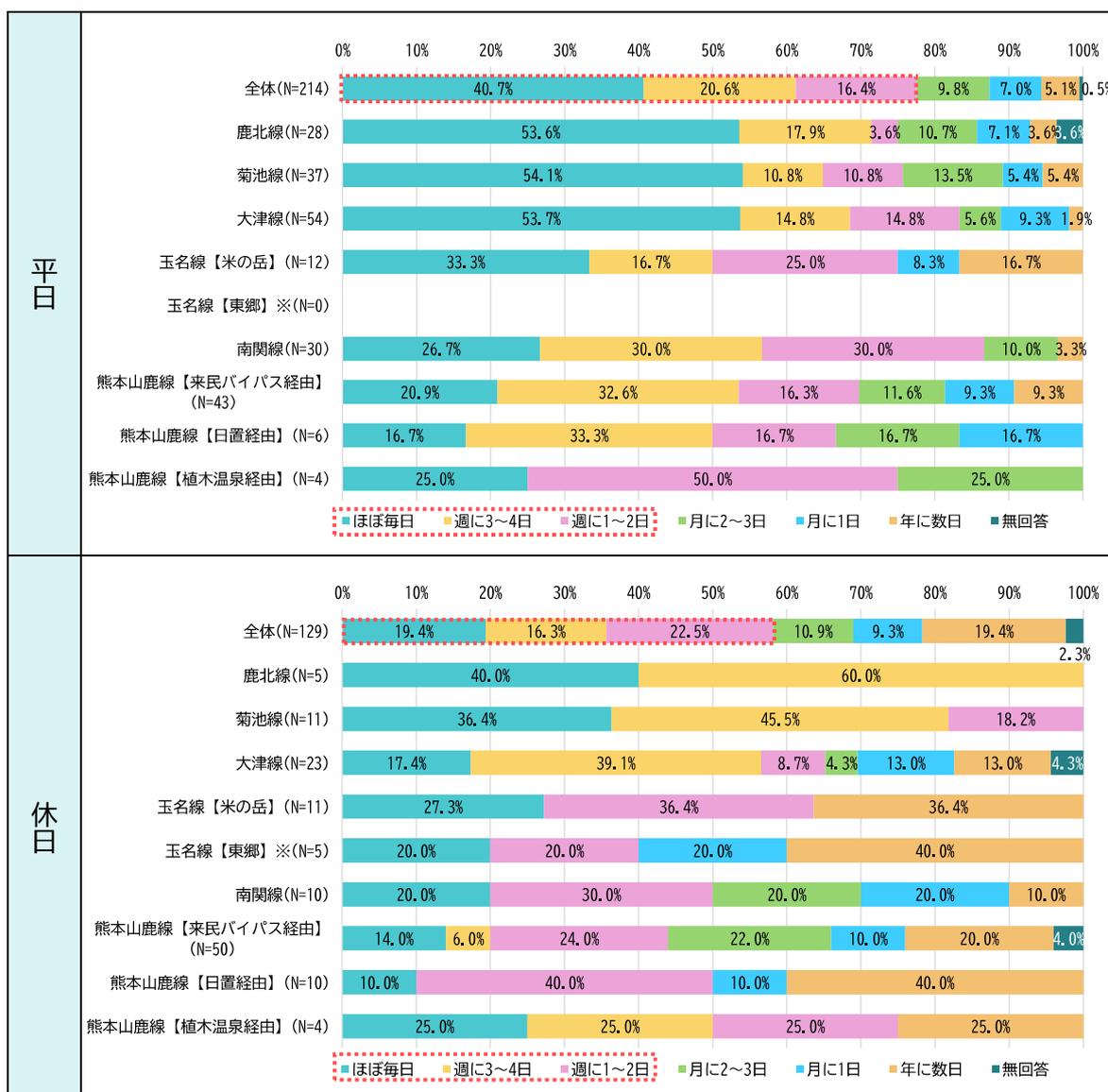
▲休日1便当たりの乗車人員(人/便)

※熊本山鹿線は11～15時の便のみ対象

第4章 地域公共交通に関する実態・ニーズ等

④ 路線バスの利用頻度

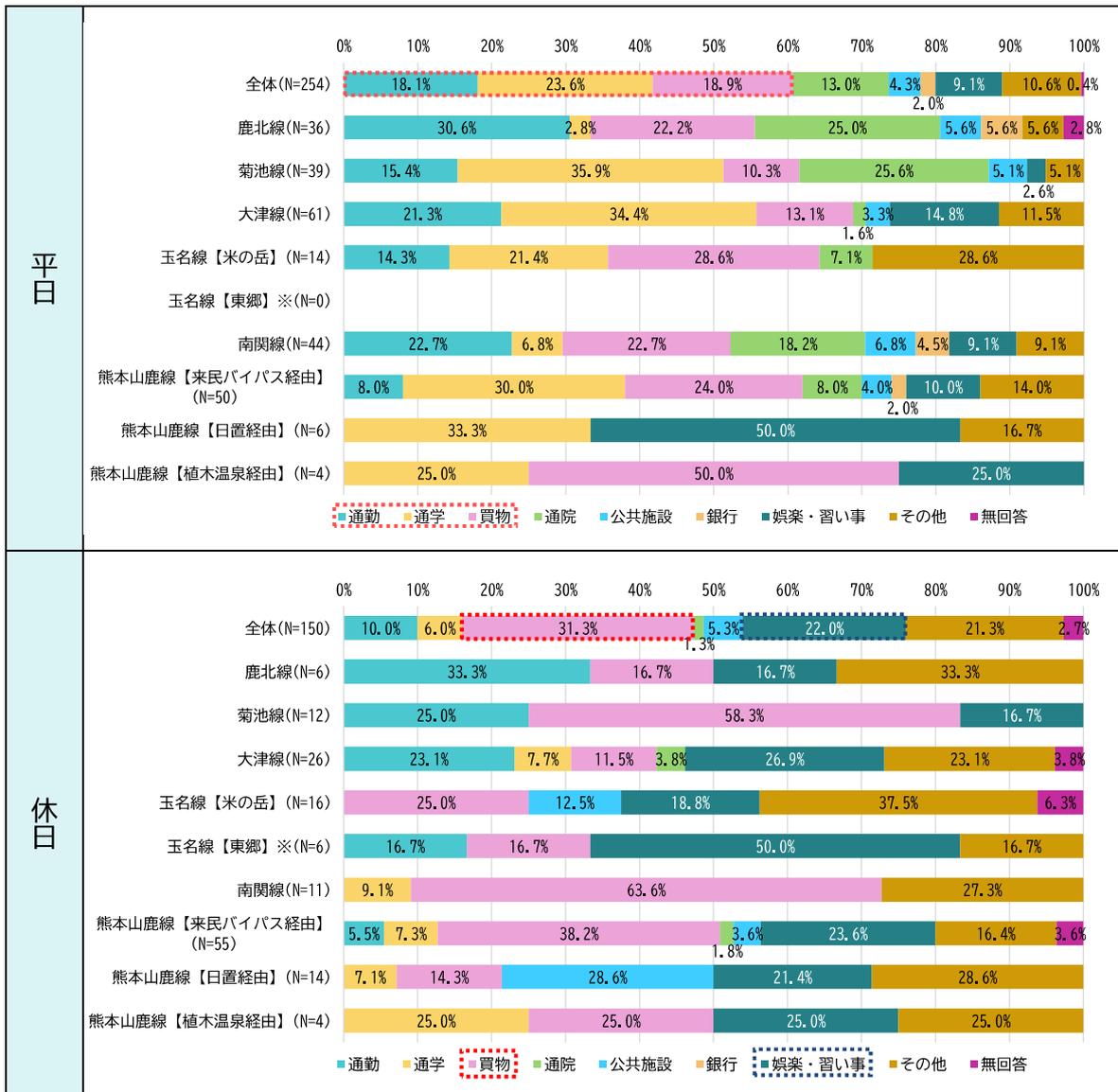
- 平日は主に高校生の通学利用であることから「ほぼ毎日」が約4割と最も多くなっており、以下、「週に3～4日」と「週に1～2日」がそれぞれ約2割の順で続いており、週に1日以上利用している方は全体の8割弱を占めています。
- 休日は、「週に1～2日」が最も多く、週に1日以上利用している方は全体の6割弱となっていますが、平日と比較して利用頻度が低くなっています。



※「玉名線【東郷】」は平日調査対象外

⑤ 路線バスの利用目的

- 平日は、「通学」が最も多く、以下、「買物」と「通勤」がそれぞれ約2割となっています。
- 特に、大津線や菊池線、玉名線【米の岳】は通学利用がメインとなっていますが、鹿北線や菊池線は通院でも多く利用されています。
- 休日は、「買物」が約3割と最も多く、以下、「娯楽・習い事」が約2割となっています。
- なお、休日では「通学」目的での利用はほとんどみられません、「通勤」目的での利用が鹿北線、菊池線、大津線などで一定程度みられます。

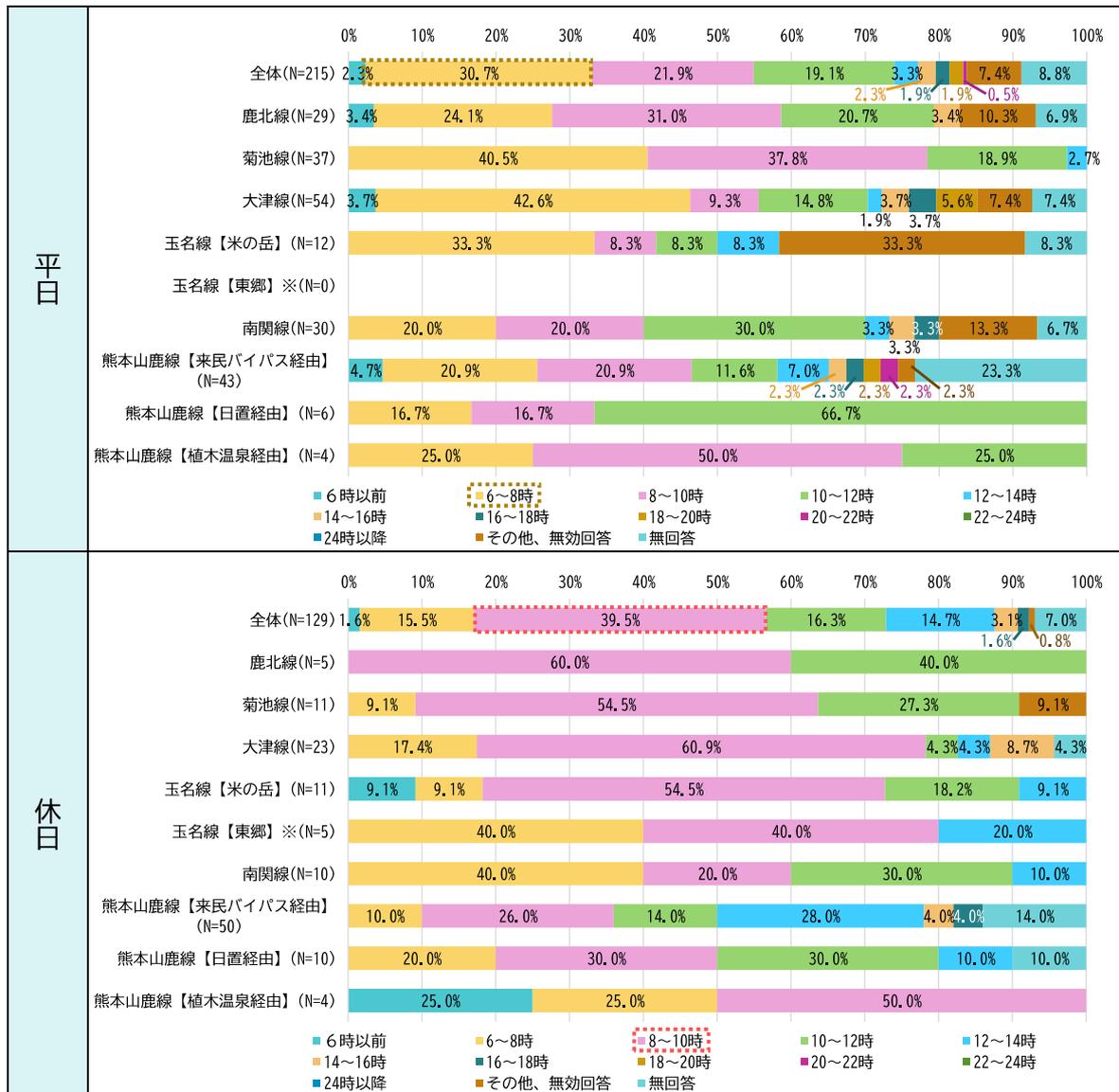


※「玉名線【東郷】」は平日調査対象外

第4章 地域公共交通に関する実態・ニーズ等

⑥ 自宅から目的地までの主な移動時間帯

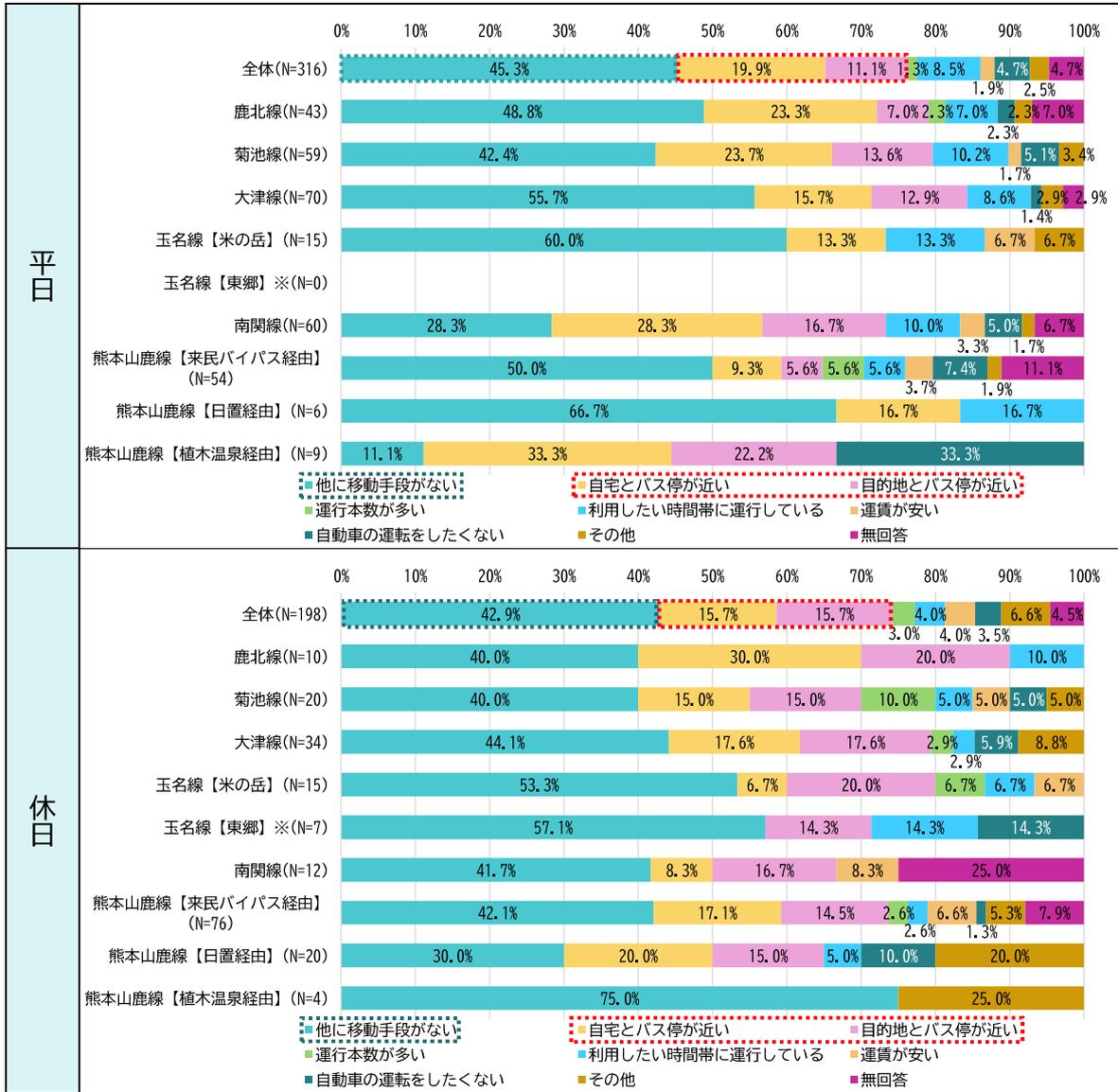
- 全体では、自宅から目的地へ行く際の移動時間帯は、平日では「6～8時」（約3割）、休日では「8～10時」（約4割）が最も多くなっています。
- ただし、買物や通院などでも利用されている鹿北線や菊池線などは、8～12時の午前中の利用も多くなっています。



※「玉名線【東郷】」は平日調査対象外

⑦ 路線バスを利用する理由

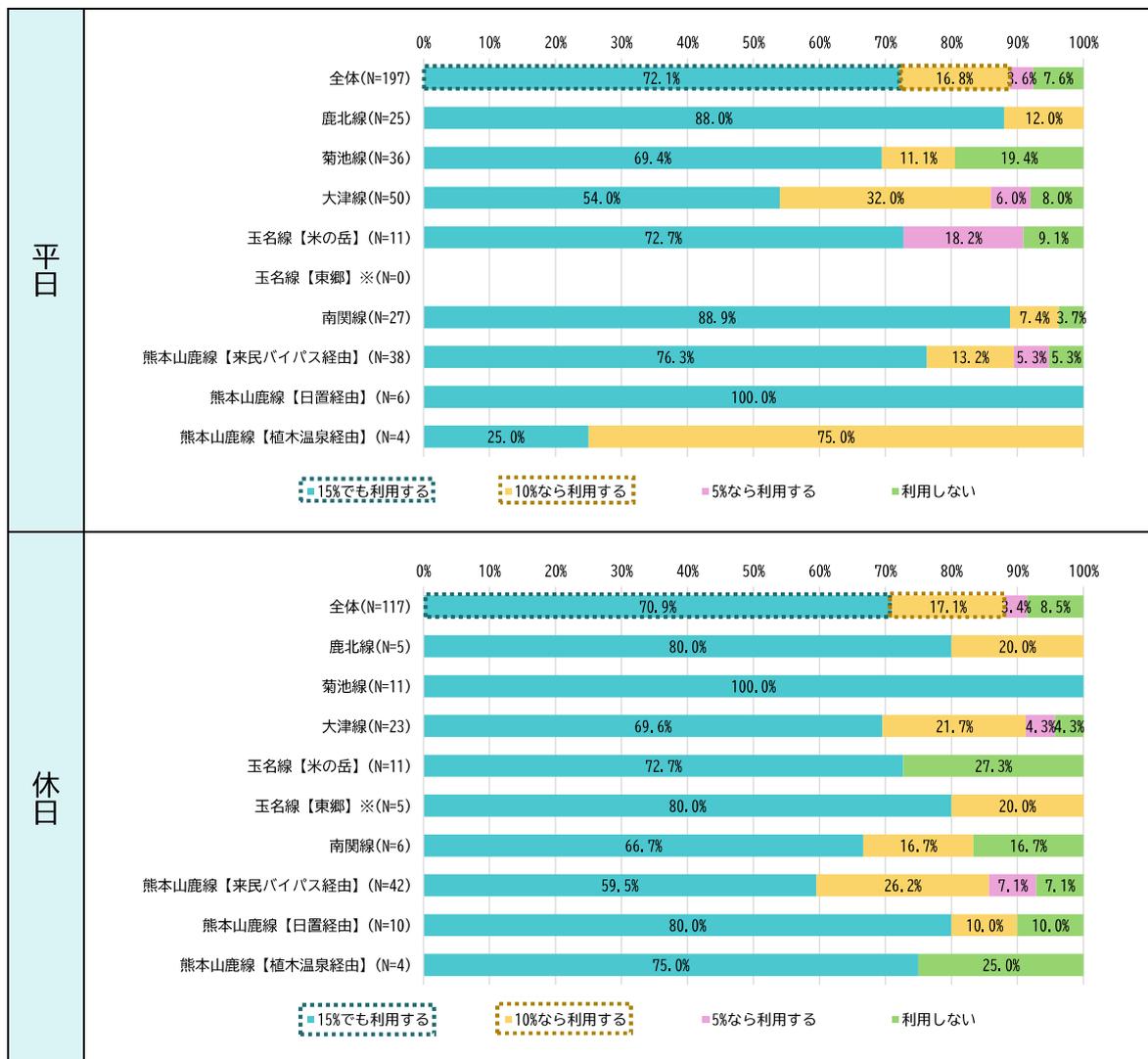
- 路線バスを利用する理由は、平日・休日ともに「他に移動手段がない」が約4割を占め、特に高校生の通学利用が多い平日は、各路線ともその理由が多くなっています。
- その他、「自宅とバス停が近い」「目的地とバス停が近い」が多くなっています。



※「玉名線【東郷】」は平日調査対象外

⑧ 路線バスの運賃が高くなった場合の利用意向

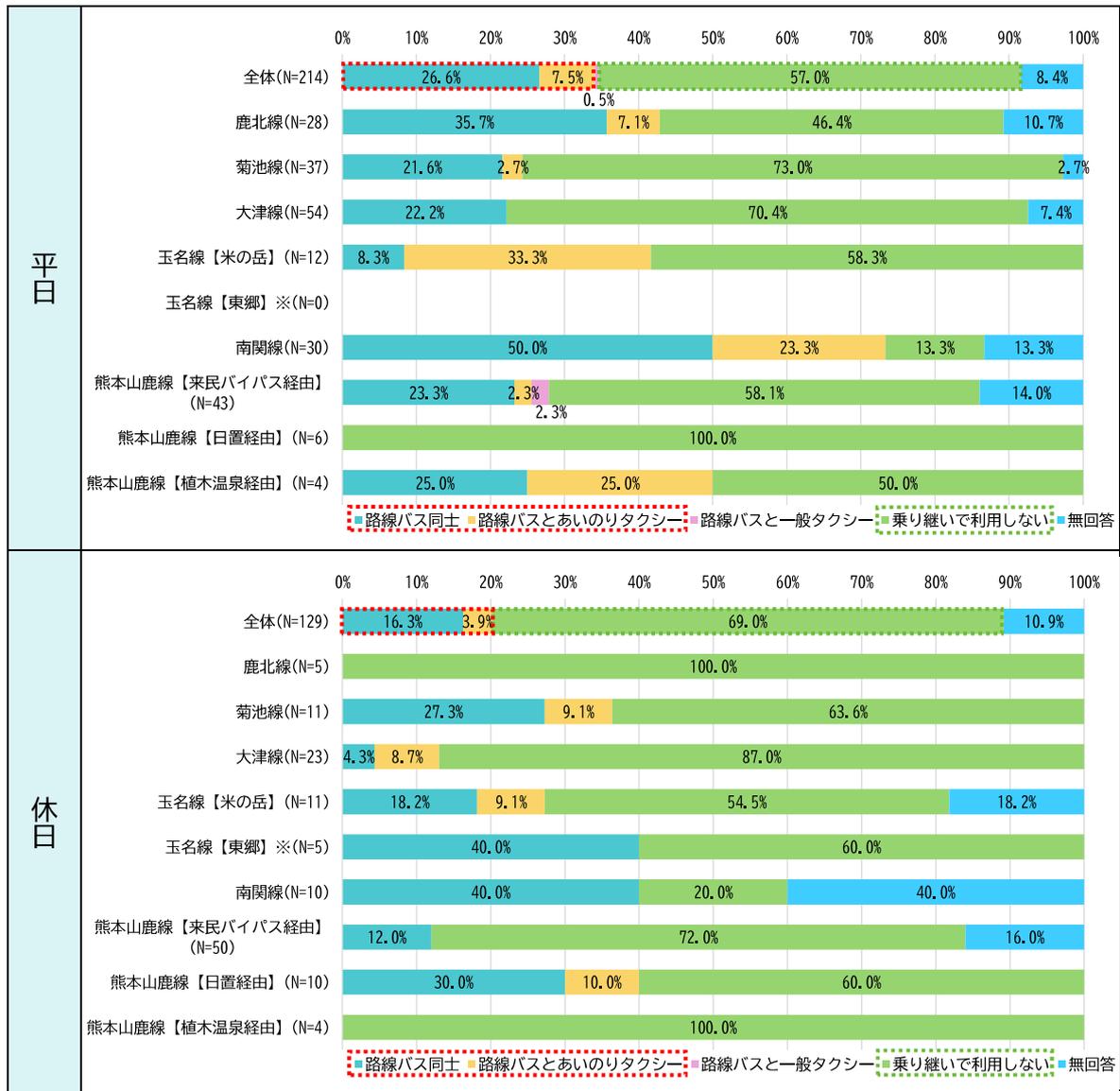
- 運賃が高くなった場合の利用意向をみると、「15%高くなっても利用する」が約7割、「10%高くなっても利用する」が約2割であり、他に移動手段がない学生や高齢者等の利用がメインであることからそのような傾向になっていると考えます。



※「玉名線【東郷】」は平日調査対象外

⑨ 路線バスとあいのりタクシー等との乗り継ぎ利用の有無

- 路線バスとあいのりタクシー等との乗り継ぎ実態は、「乗り継いで利用しない」が平日では約6割、休日は約7割となっています。
- 一方で、「路線バス同士」の乗り継ぎは平日・休日ともに約2割と比較的みられますが、「路線バスとあいのりタクシー」は1割未満と少ない状況です。
- なお、平日において路線バス同士の乗り継ぎは、鹿北線や南関線で多くみられ、山鹿バスセンターでその他路線と乗り継いでいることが想定されます。

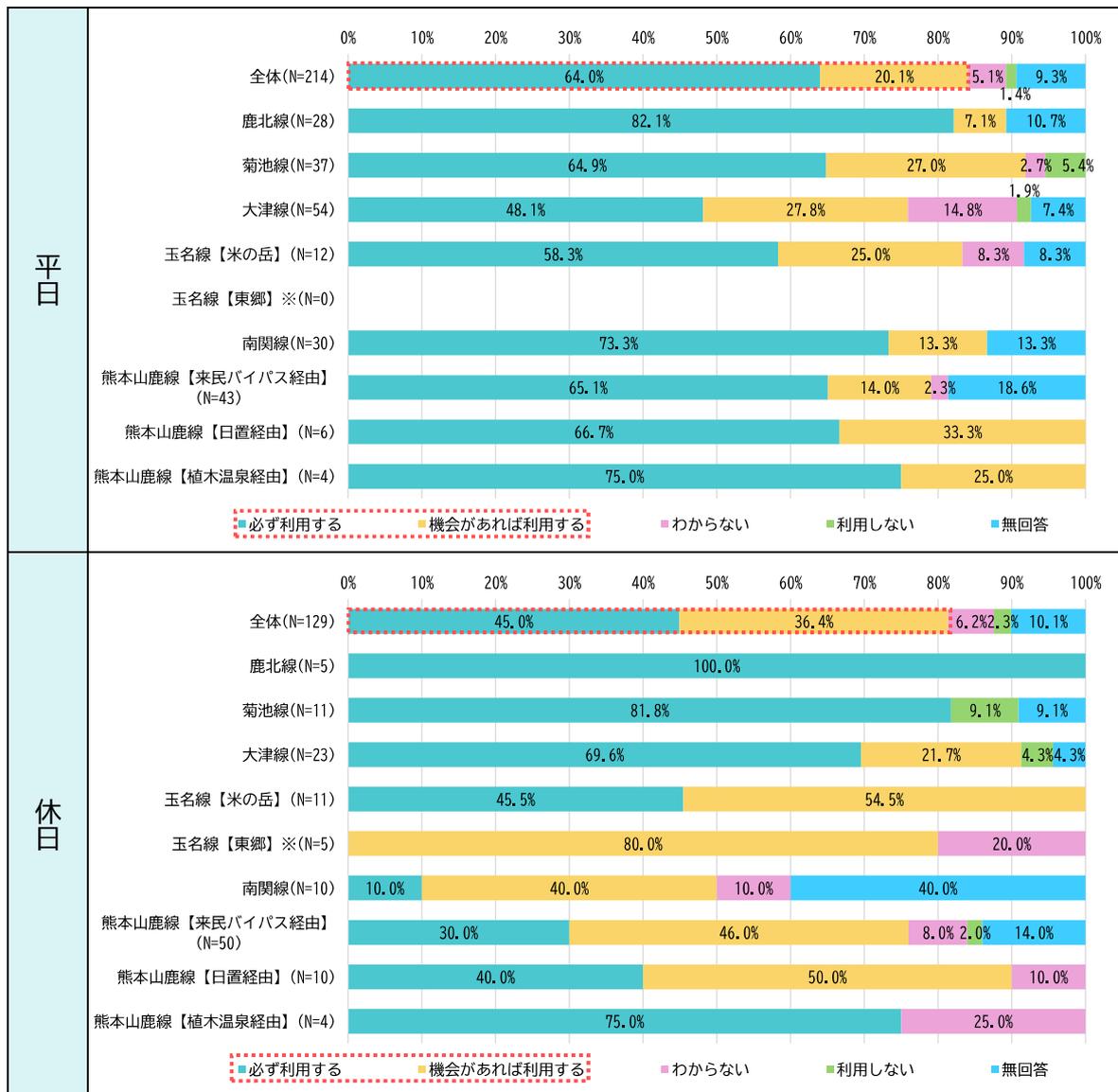


※「玉名線【東郷】」は平日調査対象外

第4章 地域公共交通に関する実態・ニーズ等

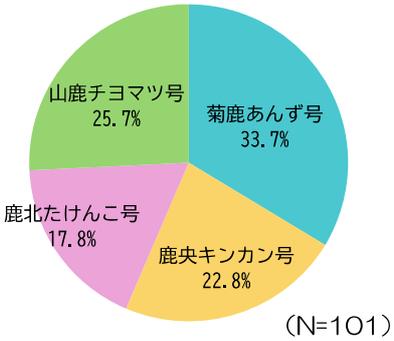
⑩ 今後の路線バスの利用意向

○ 今後の路線バスの利用意向は、「必ず利用する」「機会があれば利用する」で平日・休日ともに約8割となっています。



※「玉名線【東郷】」は平日調査対象外

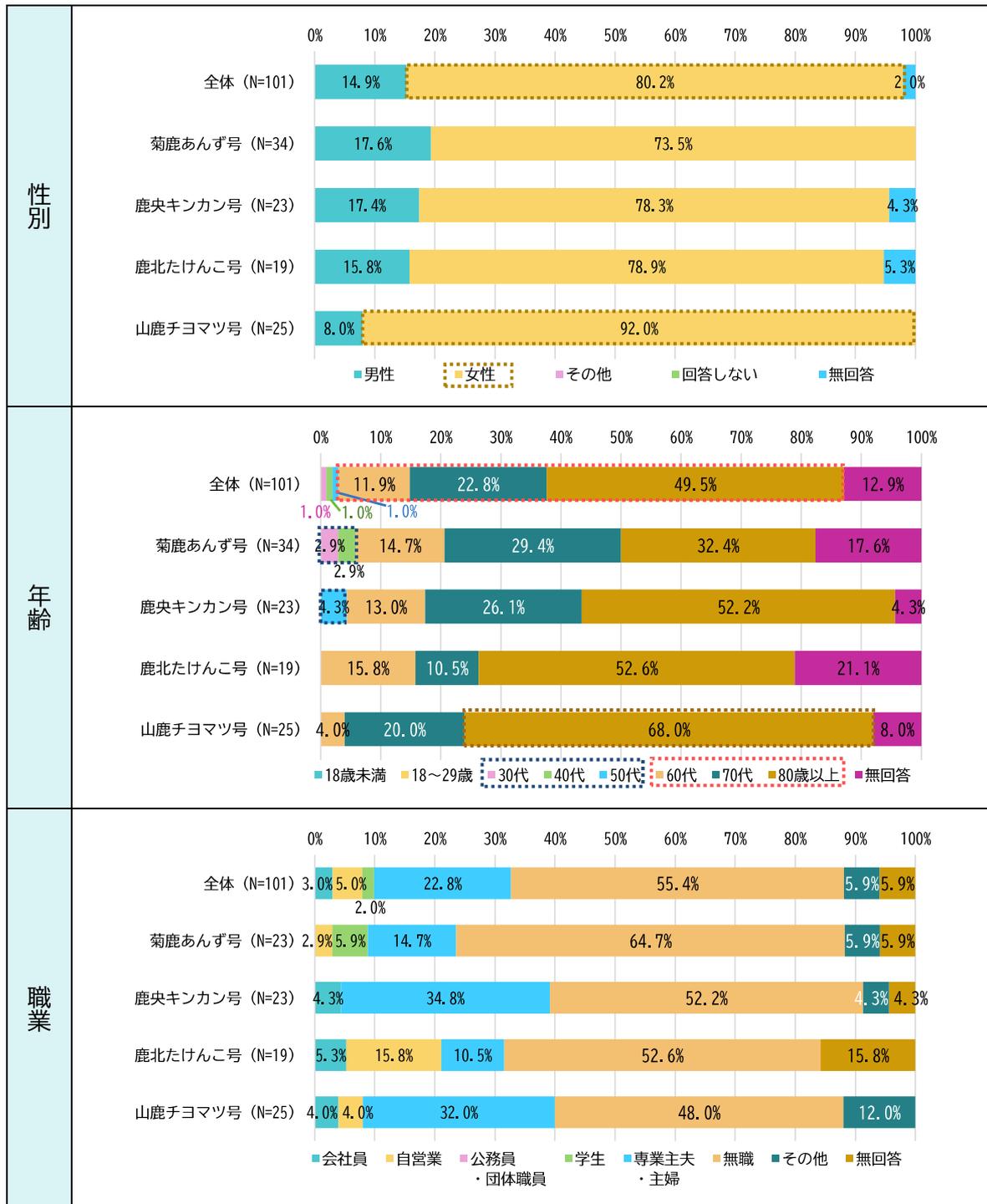
(2) あいのりタクシーの利用状況

項目	実施方法・内容等
調査対象	■ あいのりタクシーの利用者
調査方法	■ 調査票を車内に据え置き及び運転手に声掛け依頼により配布・回収 ※乗車時間内に回収困難な場合は、返信用封筒を準備しておき、郵送回収
調査期間	令和5年8月1日（火）～令和5年8月31日（木）
調査内容（項目）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 属性（居住地、性別、年齢、職業、自由に使える自動車等の保有状況、免許保有状況：免許返納状況） ・ あいのりタクシーの利用状況（目的・目的地、頻度、利用区間、利用時間帯） ・ あいのりタクシーを利用する理由 ・ 過去5年間でのあいのりタクシーの利用の変化とその理由 ・ あいのりタクシーの運行に伴う変化（外出範囲、外出機会、負担金額） ・ あいのりタクシーの10月からの見直しに伴う変化・影響 ⇒ 今後の利用の変化の可能性、変化の理由 ・ あいのりタクシーをより便利なものにするにあたって改善すべき事項（行先、運賃、乗り継ぎ、予約の有無、運行時間帯、運行曜日） ・ あいのりタクシーの予約方法について ・ 地域公共交通に対する要望、意見 ・ あいのりタクシーの利用状況（目的・目的地、頻度、利用区間、利用時間帯）
回収票数	<p>■ 計 101 票</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 菊鹿あんず号 34 票 ・ 鹿央キンカン号 23 票 ・ 鹿北たけんこ号 18 票 ・ 山鹿チヨマツ号 26 票  <p>(N=101)</p>

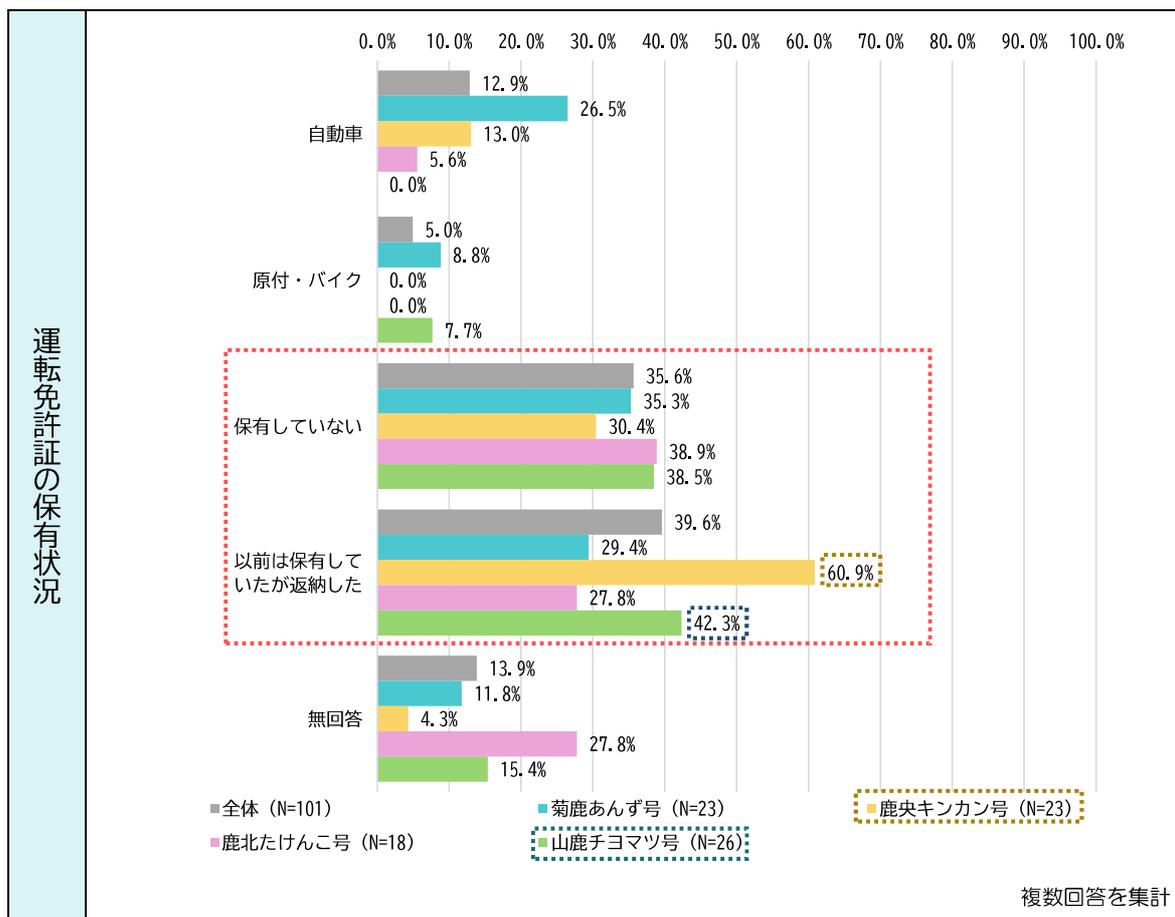
第4章 地域公共交通に関する実態・ニーズ等

① 利用者特性

- 各路線とも女性の利用者が約8割を占めており、特に山鹿チヨマツ号では9割を超えています。
- 年代別では、80歳以上の利用者が約5割、70代が約2割、60代が約1割となっており、基本的に高齢者のみの利用となっています。
- 特に、山鹿チヨマツ号は、80歳以上の割合が高くなっていますが、菊鹿あんず号や鹿央キンカン号では、30～50代の利用者もみられます。

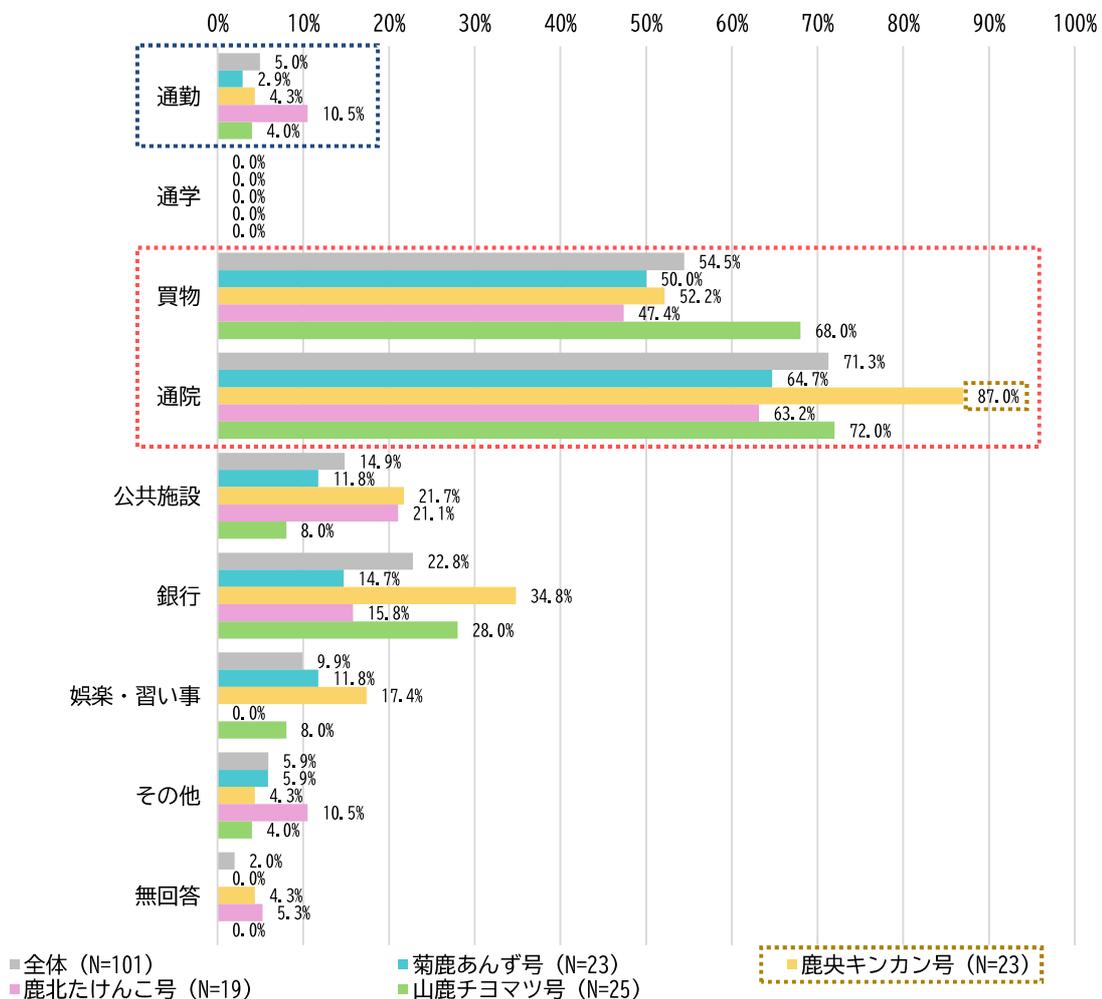


- あいのりタクシー利用者の多くは、自動車等の運転免許を保有していない、もしくは返納した人となっています。



② あいのりタクシーの利用目的

- 利用目的は、「通院」が最も多く、次いで「買物」となっており、基本的には運転免許証を保有しない高齢者が、日常生活に必要な用事等で利用されています。
- ただし、一部の利用者においては「通勤」目的で利用している人もみられます。



複数回答を集計

③ あいのりタクシー利用時の主な目的地

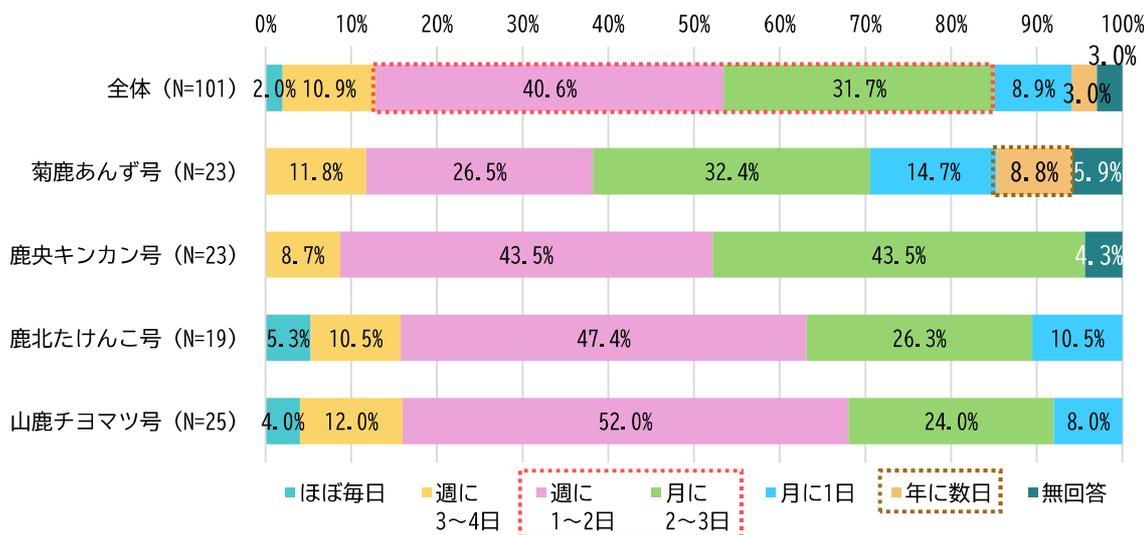
- 利用者の目的地は、中心市街地に集中しています。
- 施設別では、「山鹿中央病院」が4件と最も多く、以下、「温泉プラザ山鹿」、「ショッピングセンターリオ」、「山鹿温泉リハビリテーション病院」（いずれも3件）となっています。



④ あいのりタクシーの利用頻度

- 一部地域では週2日運行、鹿北たけんこ号では市街地運行が週2日運行など、運行日が限定されていることもあり、「週1~2日」の頻度で利用する方の割合が約4割と最も多く、次いで「月に2~3日」が約3割となっています。
- 菊鹿あんず号では、「年に数日」の頻度で利用する方も僅かにみられます。

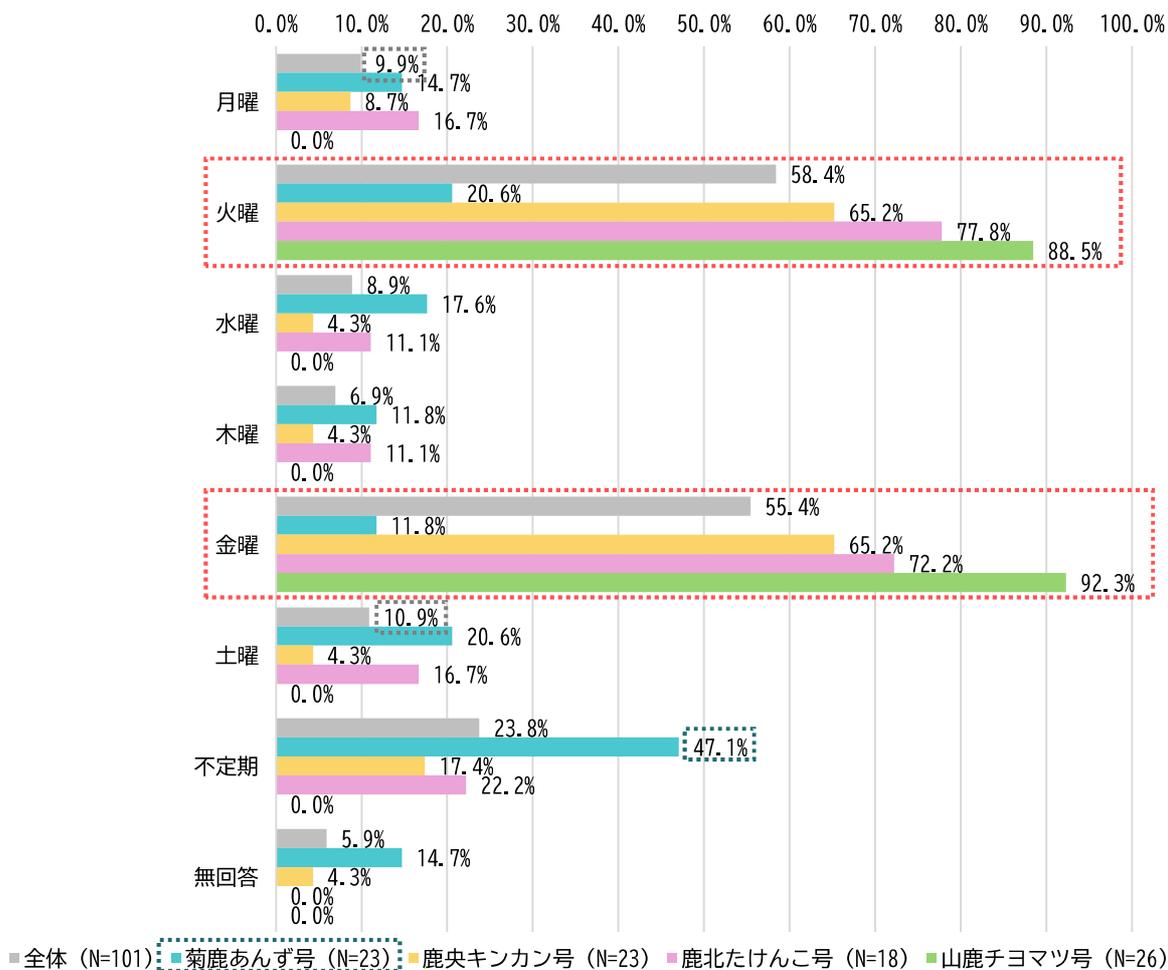
※令和5年10月から週6日運行に統一（見直し前に調査を実施）



⑤ あいのりタクシーの利用曜日

- 一部地域では週2日運行、鹿北たけんこ号では市街地運行が週2日運行など、運行日が限定されていることもあり、「火曜」、「金曜」に利用する割合が高くなっています。
- それ以外の曜日では、「土曜」「月曜」が約1割となっていますが、ばらつきがみられる状況です。
- 特に、菊鹿あんず号では週6日運行のため、他の地域と比較してばらつきがあり、「不定期」の回答が約半数を占めています。

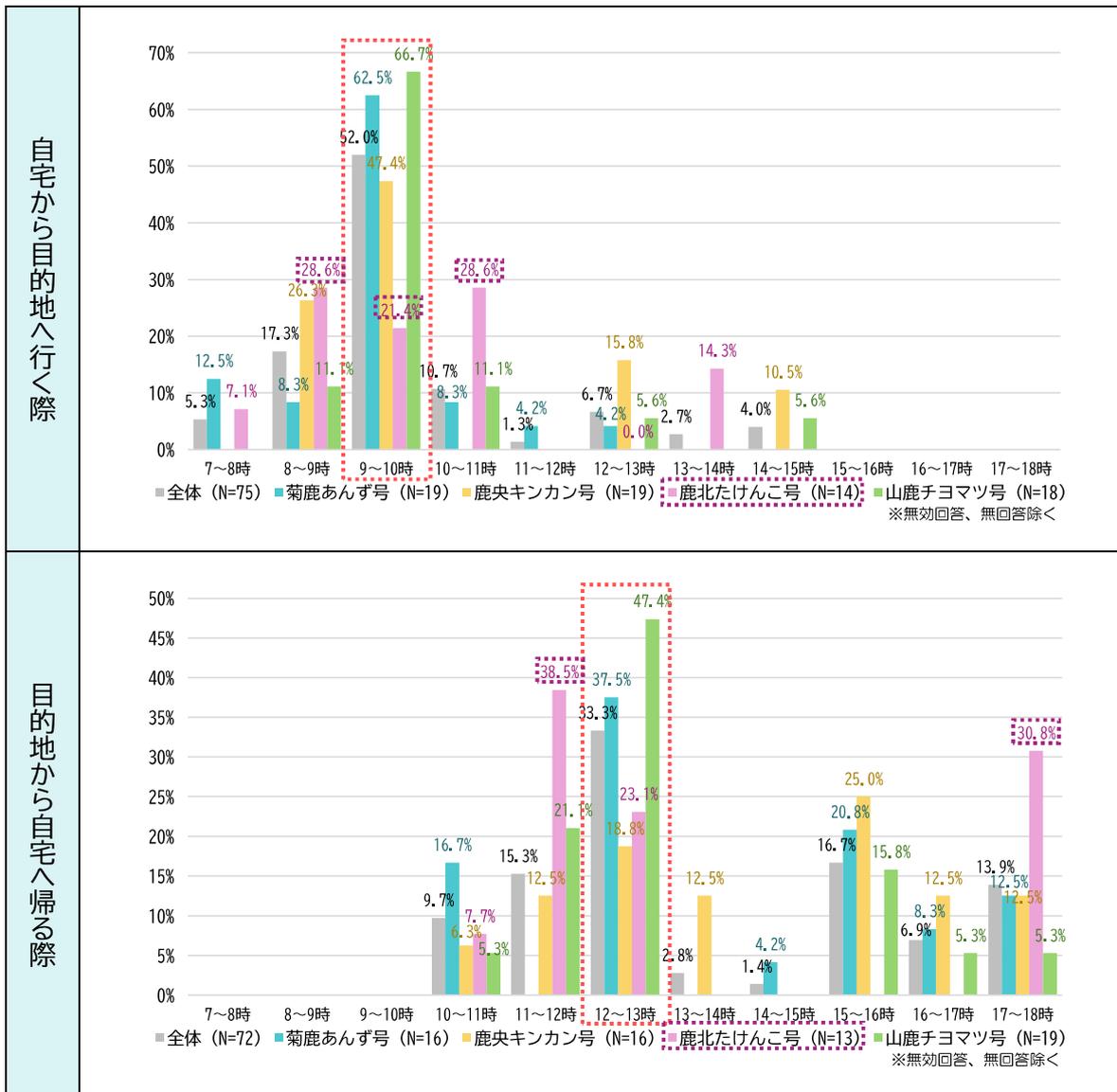
※令和5年10月から週6日運行に統一（見直し前に調査を実施）



複数回答を集計

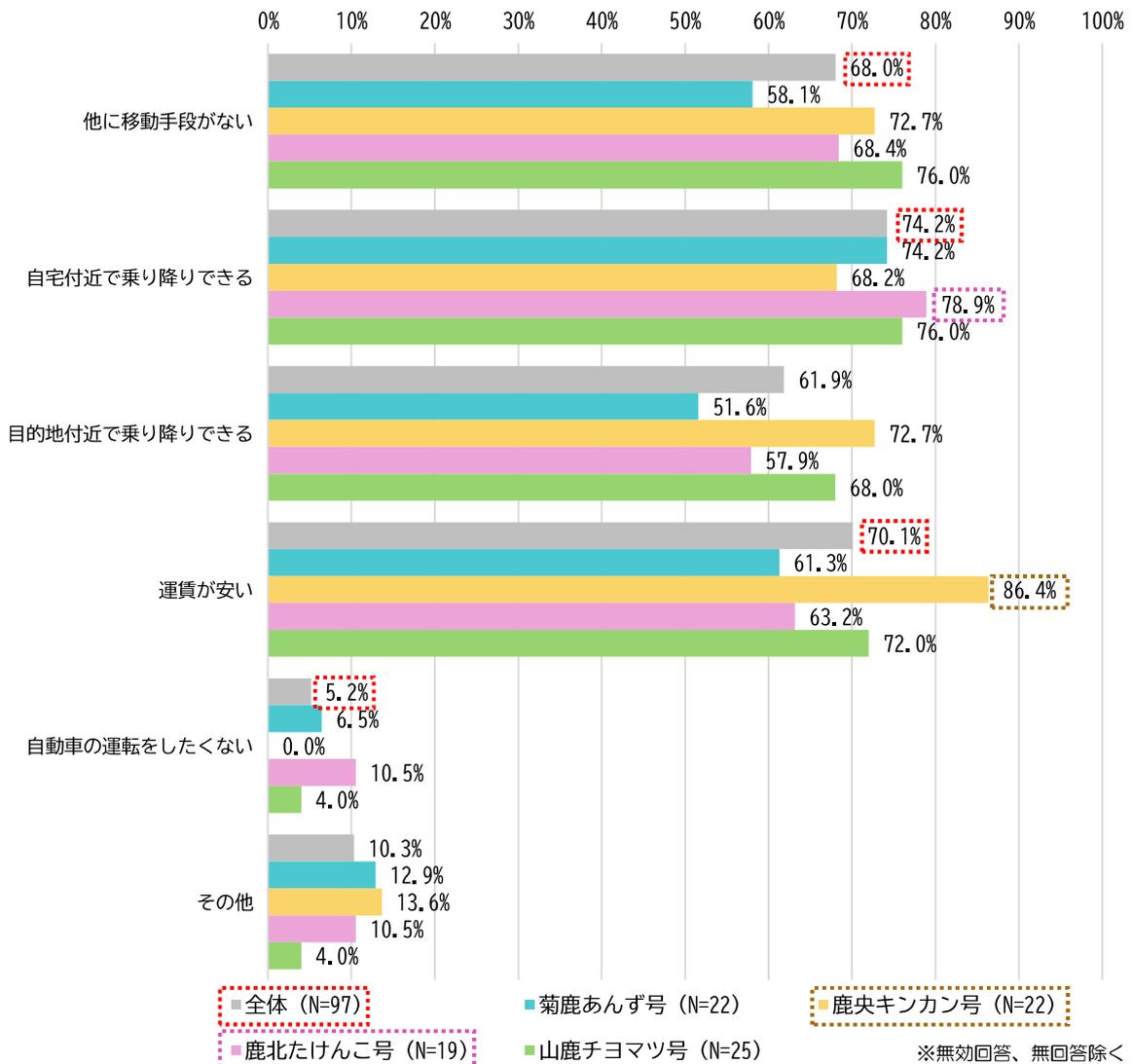
⑥ あいのりタクシーの利用時間帯

- 利用時間帯として、自宅から目的地へ行く際は「9～10時」、目的地から自宅へ帰る際は「12～13時」に利用が集中しています。
- 一方で、帰宅する際は15時以降も利用がみられます。
- そのため、自宅から目的地へ行く際に午後の便は利用が少ない状況です。



⑦ あいのりタクシーの利用理由

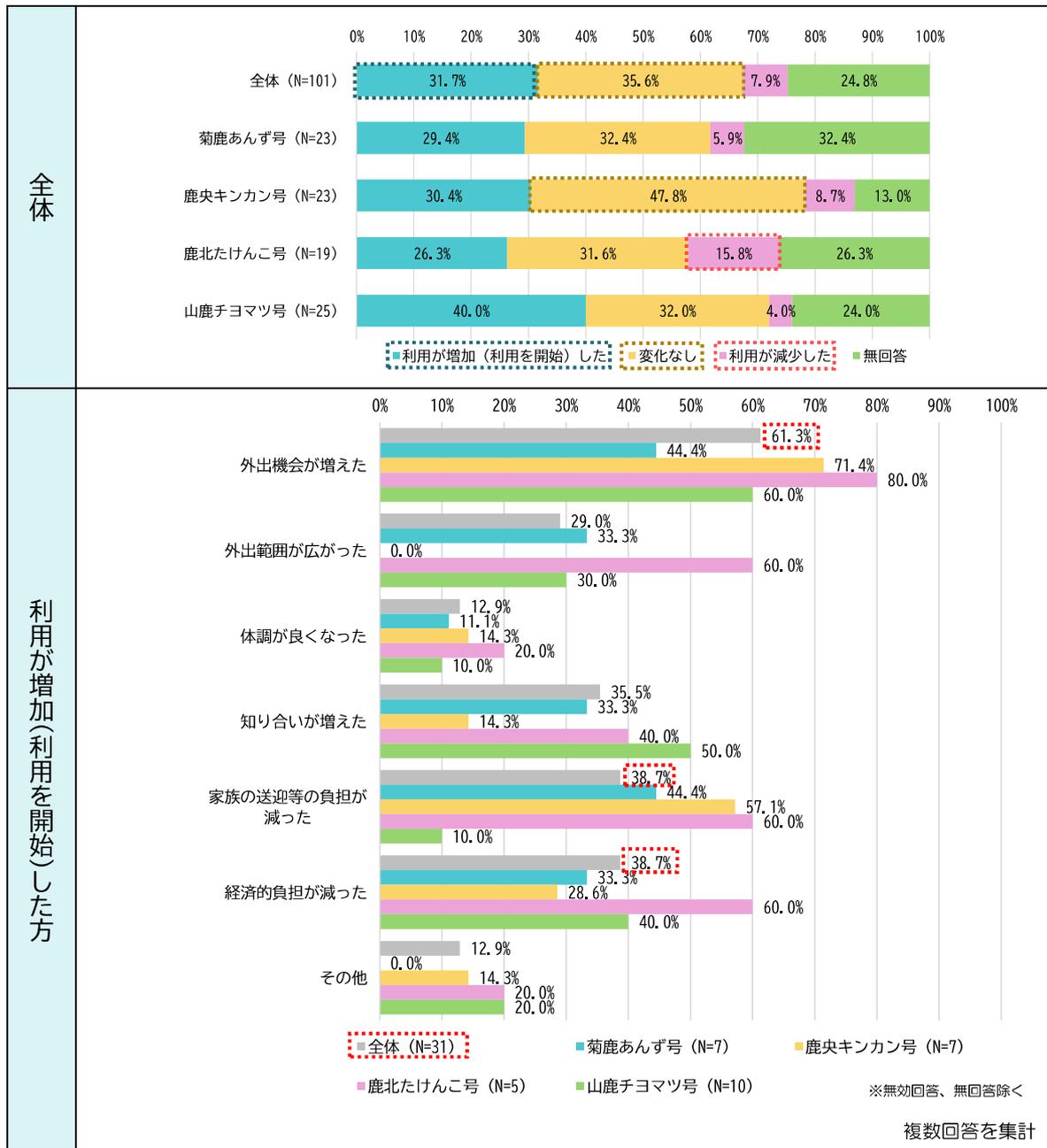
- 利用理由は、全体では、「自宅付近で乗り降りできる」が最も多く、以下、「運賃が安い」、「他に移動手段がない」となっていますが、大きな違いはみられません。
- 路線別にみると、鹿央キンカン号では「運賃が安い」が突出していますが、他の理由も同様に多くなっています。



複数回答を集計

⑧ あいのりタクシー利用に伴う日常生活の変化等

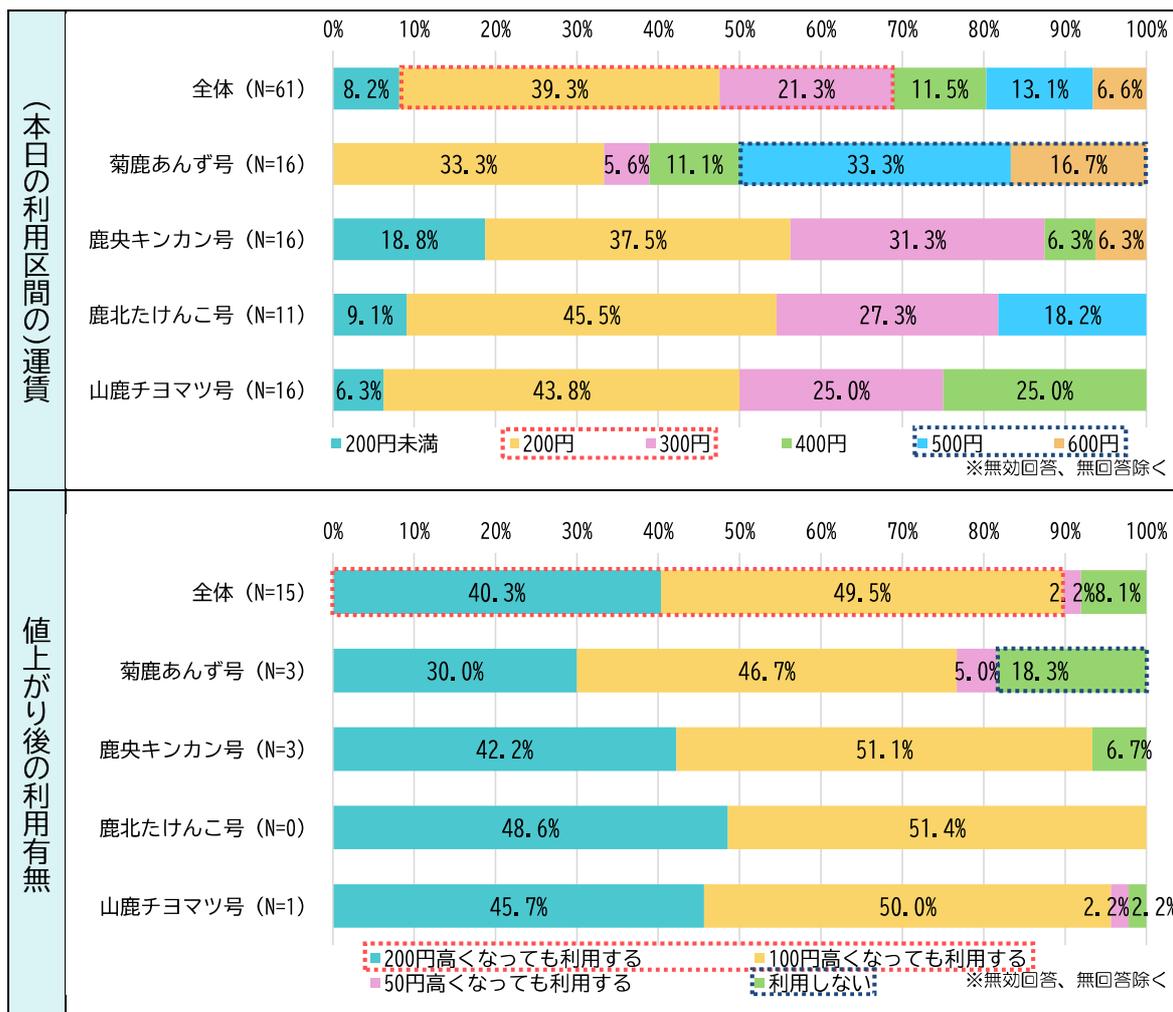
- あいのりタクシーの利用状況は、全体で、「利用が増加した」が約3割となっています。
- 利用が増加したことに伴う日常生活の変化として、「外出機会が増えた」が約6割と多く、その他「家族の送迎等の負担が減った」、「経済的負担が減った」が多くなっています。
- 一方で、利用が「変化なし」の人が約4割を占めています。



⑨ あいのりタクシーの運賃について

- 運賃は、「200円」（約4割）、「300円」（約2割）の割合が多くなっています。
- 路線別では、菊鹿あんず号において500円以上が5割以上となっています。
- 運賃値上げ後の利用意向は、「100円高くなっても利用する」と「200円高くなっても利用する」で全体の約9割を占めています。
- ただし、菊鹿あんず号では「利用しない」が約2割を占めています。

※令和5年10月から運賃一律100円値上げ（見直し前に調査を実施）



⑩ あいのりタクシーの予約方法等について

○ 予約日の希望は、菊鹿あんず号では「現在の予約日で良い※」が約6割、鹿北たけんこ号では「2～3日前から」が約6割、山鹿チヨマツ号では「1日前から」が約8割となっています。予約時間の希望も路線によってばらついていますが、全体として約4割が「1時間前まで」を希望しています。

※第1・2便は前日の15～19時のみ、第3～5便は前日15～19時もしくは当日8～10時予約可能

